



小山 高正 議員



子育てについて

問 ①市内の病児病後児保育の現状を伺う②指定病児保育施設を新設し、病児保育の送迎システムを構築できないのか。

答（福祉部長） ①体調不良児対応型5カ所、そのうち1カ所は病児対応型も実施している。②病児の心身の負担等もあり、利用ニーズ、市内の人的、物的資源の活用を今後の研究課題としたい。

災害対策について

問 ①避難所の衛生対策としてトイレ清掃が重要であるが具体的な指針はあるのか②マンホールトイレについての所見を伺う③市民一人当たりの入浴頻度と仮設シャワー導入への所見を伺う。



答（総務部長兼危機管理監） ①避難所開設運営マニュアルにより避難者が協力して清掃を行う。②衛生管理上有効だが、下水道との連結が不可欠であり費用対

策を含め検討したい。③入浴は、数日に1回程度できるようにしたい。仮設シャワー室は費用対効果を考慮し導入を研究したい。

市民生活について

問 ①認知症の高齢者が起因の損害賠償事件について、民間保険を利用した救済制度の創設を求めるが所見を伺う②飼育している犬猫へマイクロチップの装着を希望した場合、市独自の助成はできないのか。

答（福祉部長） ①他自治体の取り組みや民間保険商品の情報収集を行い、よりよい方法を研究したい。

答（市民部長） ②他自治体の動向を確認し、研究したい。



古川 一美 議員



主権者教育について

問 コロナ禍で社会生活は急変し、国際情勢も激変している。今後厳しい社会を生き抜くためには自分の責任と意志で判断する力が求められる。主権者として社会に関心を持ち、主体的に行動できるための主権者教育が重要となる。①10代20代の投票率は②小中学校ではどのような主権者教育がされているか。

答（教育長） ②市では、児童生

徒が自分の課題を主体的に調べ、表現するという授業改革に取り組んでいる。

答（選挙管理委員会書記長） ①直近の参議院議員通常選挙では、10代が27.16%、20代は23.03%で、衆議院議員総選挙では、10代が40.12%、20代は29.54%だった。②出前講座や生徒会選挙への選挙備品貸し出し等を行っている。



部活動改革について

問 学校の働き方改革を踏まえ

た部活動改革が検討されている。少子化で部活動の数も少なくなっている。①どのような改革が検討されているか②他校との合同部活動は可能か③多様なスポーツ・文化活動の機会が失われないよう、子どもの視点にたった改革を求める。所見を伺う。

答（教育長） ③部活動は机上では身につけられない非認知能力の鍛錬の場であり、いろいろなところで活性化させたい。

答（教育部長） ①市では教育委員会内にワーキングチーム等を設置し、地域移行が図られるよう協議、検討していく。②週末などに合同練習し、大会に出場している部活動がある。